



# 児童図書研究室だより

平成 24 年 7 月 27 日 発行

Vol.10

## 新しい児童図書研究室において

児童図書研究室（以下、児研室）は、岡山県立図書館の開館に合わせて児童資料部門と共に新設した部屋で、岡山県内の子ども読書推進センターとしての機能を備えています。児童図書に関する研究者、教育関係者はもとより、子どもをもつ親や、その子どもたちにも広く利用されています。また、国内で出版される児童書をすべて受入し、利用に供してきました（全点購入児童図書）。平成 22 年度末には、岡山県立図書館第 2 次中期サービス目標「県民図書館さんさんサービスプラン」を策定し、それを踏まえて、この全点購入児童図書もより柔軟に活用していただけるよう規程の見直しを行いました。今回は、その変更点を中心に、児研室の案内をしていきます。

### さらなる利用拡大のために

児研室で受け入れをしてきた全点購入図書については、今までは岡山県立図書館もしくはお近くの図書館窓口でご利用いただいていた。今回の見直しで、開架期間（1 年間）を過ぎたものは、個人への貸出も含めて利用の拡大をすすめていきます。（ただし、児研室展示等の資料については館内利用となる場合があります。ご了承ください。）普段、図書館や書店などでも手に取ることが難しい資料もあります。今まで以上に活用の幅が広がると思います。

### 新しい児研室として

児研室への配架資料を見直し、より実用性の高い資料を厳選して配架閲覧を目的とした研究室とします。

#### ○全点購入図書の配架期間

まず、国内で出版された児童書について過去 2 年間だった開架期間を、過去 1 年間に短縮しました。1 年分の資料をわかりやすい配架にして、出版される児童書の傾向はもとより、新しい本に出会い、選ぶ機会として今まで以上に活用いただけるかと思えます。

#### ○前年に出版された主な児童書展示

岡山県立図書館では、図書館職員等研修において「前年に話題になった子どもの本」講座を開催しています。この講座では、その年に出版された児童書のうち、注目されたり、話題を集めたりした本を体系的に紹介しています。その講座で紹介する児童書を児研室の常設展示とし、いつでも一覧できるようにしました。なお、

講座につきましては、前述の研修以外にも各図書館の職員研修等での開催もご相談いただけます。

#### ○児童図書研究室展示

児研室では、時事的な話題、定評のある作家や児童文学、昔話絵本の読み比べなど、児童図書の魅力にふれてより

親しみが持てるような内容を企画し、展示しています。普段、多くの児童書の中で埋もれがちな資料をあらためて見返す機会にもご利用ください。

#### ○児童図書研究書の充実

児童図書研究書は、開館より積極的に収集をすすめてきましたが、その関連資料として、オズボーンコレクションや小中学校の現行教科書を周辺に配架することで、研究の用にかなう資料群を構成し、かつ日々検証しています。この機にぜひご利用ください。



## 新着図書紹介

最近出版された児童図書研究書および児童書をご紹介します。

### 児童図書研究書紹介

『ケイト・グリーンウェイ』 川端有子編著 河出書房新社 726.601/カ12

ケイト・グリーンウェイは、19世紀末に活躍し、後世の絵本に多くの影響を与えた作家として、広く知られています。今日でも『窓の下で』等がオズボーン・コレクション等からの復刻資料で直接手にすることができ、同時代の絵本作家ランドルフ・コールデコット、ウォルター・クレインと並び称されますが、もっとも多くの作品を目にするのは、やはり彼女の作品ではないかと思えます。本書では、カラー写真も多く使い、解説と合わせて作家の画業を見るだけでなく、当時の社会の風景なども追っていくことができる資料です。



『児童文学と昔話』 石井正己編 三弥井書店 388.04/イ12

小学校国語科学習指導要領の指導内容に「伝統的な言語文化に関する事項」が新たに加えられました。将来教壇に立つ東京学芸大学の教育学部の大学生に向けての講演を中心に、児童文学研究と昔話のフォーラムがまとめられています。昔話は民俗学によって研究が確立された概念ですが、児童文学の中には再話という形で引き継がれています。昔話の語りには、子どもの成長を育む力や聞く力を育む力、そして共有することで親子の関係を構築することができるのだと、著名な児童文学者である宮川ひろ氏、あまんきみこ氏、岩崎京子氏などが熱く語ります。



## 新着児童図書紹介

『新聞を読もう』 鈴木雄雅 監修 教育画劇 C070/スス

「1巻 新聞を読んでみよう!」「2巻 新聞づくりに挑戦!」「3巻 新聞博士になろう!」のシリーズ全3巻になります。ここ最近、新聞が注目され、学校においては、新聞を使って授業を行ったり、学習のまとめとして新聞を作ったりすることがあると思います。子どもにとって新聞とは活字の並んだ難しいものと捉えがちですが、この本では、「新聞の文字の秘密」、新聞記事を「しゃべり言葉にへんしん」など親しみやすい内容で構成されています。また、記事の校正の仕方や分かりやすい見出しの決め方をよい例と悪い例を対比させながら説明してあり、新聞づくりのポイントを分かりやすく説明してあります。子どもが新聞とはどんなものなのか理解するための授業の導入として使える資料だと思います。



『nijntje』 Illustrations and text by Dick Bruna. Published by Mercis Publishing. First published 1963. 2011, 29<sup>th</sup> ed.

日本では“うさこちゃん”もしくは“ミッフィー”の名前で知られているディック・ブルーナの絵本のオランダ語版です。このシリーズは一昨年にシリーズ出版55周年を記念して福音館書店から再刊されたことは記憶に新しいところですが、その時用いられたブルーナ・カラーとウサコズフォントがどの程度底本に沿ったものか見比べることができるかと思えます。ぜひ、英語版、日本語版では版の差などを読み比べて、読み手への伝わり方の違いを検証してみてください。

※「ミッフィー」は“nijntje”の英語版を底本として翻訳され講談社より出版された絵本です。



## 岡山県立図書館の事業について

図書館の児童資料部門にとって、イベント事業は子どもと読書を結びつける重要な業務の一つです。また、夏休みには多くの子どもたちが図書館に注目する時期でもあります。そこで、岡山県立図書館では、今年度次のような事業を計画しています。

### ○小学生のためのストーリーテリングの会【7月25, 26, 27日 いずれも14:00～15:00】

ストーリーテリングとは、語り手が絵本を使わず、物語を語っていくことです。日本、イギリス、中国など世界の昔話を語っていきます。聞き手は、語り手の世界に引き込まれ、いつの間にか夢中になっているのが分かります。小学生に向けてということで普段のストーリーテリングの会よりも少し長く、1時間となっています。絵本の読み聞かせとは違ったおはなしの雰囲気を味わいませんか。

### ○小学生のためのおはなし会【7月15, 29日, 8月5, 19日(いずれも日曜日) 15:00～15:40】

小学生にもっと絵本の楽しさを感じてもらうために、小学生に向けておはなし会を行います。普段行っているおはなし会の時よりも長い絵本を読み聞かせしていきます。時間は40分間です。小学生を対象にしていますが、毎年年齢を問わずたくさんの方が来てくださいます。興味のある方は是非足を運んでみてください。

### ○英語のおはなし会【8月4日(土) 第一回14:00～, 第二回15:00～】

今回で2回目となる英語のおはなし会。同じ絵本を日本語と英語で読み聞かせします。同じ絵本でも言語が違ると、語られる絵本の雰囲気も変わってきます。その違いを楽しんでほしいと思います。前回の読み聞かせでは、「はらぺこあおむし」「どろんこハリー」を読みました。今回はどんなおはなしが待っているのでしょうか。今回は読み聞かせに加え、英語で手遊びや歌遊びも行う予定です。

### ○調べ学習秘密基地【夏休み期間中】

おはなしのへやを使って、小・中学生が夏休みに行く自由研究や工作に役立つ資料を展示します。資料は探しやすいように、「観察・実験」「環境」「読書感想文」などのカテゴリーに分けて展示しています。そして、本を閲覧するだけでなく、その場で書き留められるように机も用意しています。夏休みの課題を解決するのにうってつけな場所です。もっと資料が必要な場合はカウンターまでご相談ください。

### ○高校生のおはなしボランティア体験講座【8月7日(火) 10:45～15:40】

高校生を対象に、当館ボランティア養成講座(体験版)を受講してもらい、実際に子どもたちの前でおはなし会を開催する企画です。

## 子どもと読書に関するニュース

- ◆島根県の学校図書館における調べ学習への取り組み (YOMIURI ONLINE 記事紹介) [カントアウェアネス・ポータル 5/7]
- ◆センダックさん死去 米の著名絵本作家 [朝日朝刊 5/9]
- ◆横浜市立図書館緑図書館, 絵本選びに悩む保護者のための「はじめて出会う赤ちゃん絵本セット」貸出を開始 [カントアウェアネス・ポータル 5/10]
- ◆文部科学省, 「平成23年度学校における教育の情報化の実態等に関する調査結果」(速報値) を公表 [カントアウェアネス・ポータル 7/11]
- ◆伊藤忠記念財団が子ども文庫助成 家庭や地域文庫で子どもの本や用品購入に対し30万円の助成など。応募締め切りは7/31。厚労省の推薦〆切は9/30。詳細はHP参照。
- ◆平成24年度全国公共図書館研究集会 児童・青少年部門 テーマ:一人ひとりに寄り添う児童サービス 期日:2012年11月29日(木)～30日(金) 会場:広島県情報プラザ 詳細はHP参照。

# 図書館職員等研修（基本研修） 児童サービスを開催しました

6月15日に岡山会場，7月6日に鏡野会場の日程で，図書館職員等研修（基本研修）の児童サービス研修を行いました。今回は，講師に倉敷市立短期大学保育学科教授の溝手恵里氏をお招きして、『乳幼児の文化財～児童サービスとしての実践について～』と題してご講義いただきました。講義は，絵本や紙芝居も児童文化財の一つととらえ，その特徴や効果についての具体的な説明とともに，発達に即した資料提供は図書館の児童サービスにおいても通じる部分も多く有り



新しい知見を得ることが出来る会となったかと思えます。また，講義の前には当館職員による『2011年に出版された主な児童書解説』を行いました。これは，前年に出版された児童書を「絵本」「読み物」「調べものの本」に分けて，それぞれの出版傾向や話題になったものを紹介していくものです。この解説内容については，児童図書研究室にて掲示するとともに，解説内で紹介された本をすべて手にとっていただけるよう常設で配架しています。ぜひ，今後の各館の児童書選定の参考としてご活用ください。

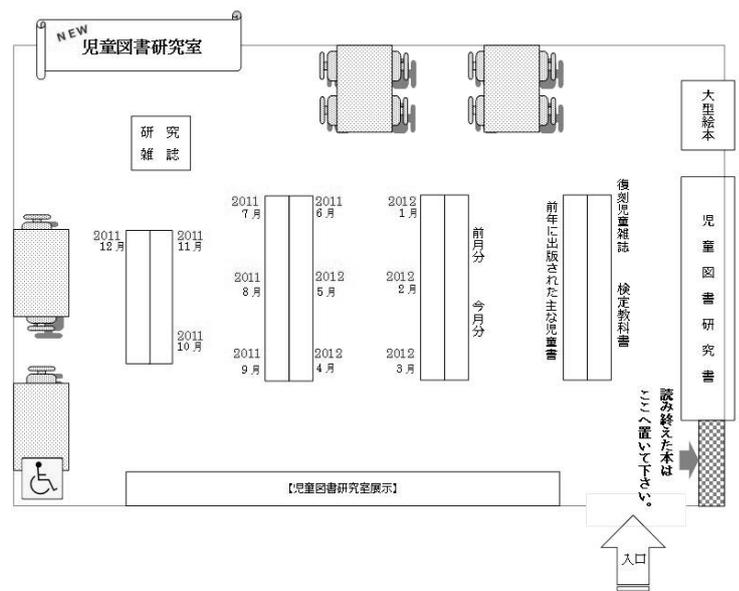
## 児童図書研究室案内

児童図書研究室がリニューアルオープンしました。

巻頭でお知らせしたとおり，全点購入児童図書の児童図書研究室内への配架期間が2年間から1年間になりました。月ごとの出版点数を把握しやすく，また該当図書を探しやすくということを中心に心がけて本を置いています。

ただし，ひと月分の本の入荷には2ヶ月近くかかります。揃うまでは入ってすぐの棚に置いていきます。ある程度の量が揃ったのち，該当月の書架へと移動させます。

また，2011年に話題になった児童書のコーナーを設置しました。昨年度話題になった本はいつでもこの部屋でご覧いただけます。各資料の詳しい内容につきましては，当館で行っている『2011年に出版された主な児童書解説』という講座でお話しております。（当講座は出張講座もしております。ご希望の方は児童資料班までご連絡ください。）



児童図書研究室だより Vol.10

平成24年7月27日発行

お問い合わせ先

岡山県立図書館サービス第一課児童資料班

Tel : 086-224-1286 (代表) Fax : 086-224-1208